

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

開催日時	令和4年8月29日（月）午前10時から午前11時まで
開催場所	3階庁議室
出席者	<p>森吉副市長、吉田副市長、小川教育長 小泉参与、山本危機管理部長、山崎市長公室長、前田総務部長、立花環境産業部長、堂ノ上福祉部長、森市民生活部長、岩井子育て健康部長、八木都市デザイン部長、並木教育次長兼教育・こども部長、辻生涯学習部長、森下上下水道部長、藤原消防長</p> <p>【事務局】 （政策企画室）東政策企画室長、西川政策・資産マネジメント担当課長、田嶋総括主幹、中津主事 （財政課）古川総務部次長兼財政課長、船津課長補佐 （人事課）尾郷市長公室次長、奥人事課長</p>
会議の議題	（1）和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）について （2）和泉創発プランの改訂について （3）市長公約事業の進捗について
会議の要旨	（1）和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）について 「和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）（事務局案）」が承認され、第3回定例会総務企画委員会協議会に報告することとした。 （2）和泉創発プランの改訂について 「和泉創発プラン改訂（素案）（事務局案）」を一部文言修正のうえ承認され、第3回定例会3常任委員会協議会に報告することとした。 （3）市長公約事業の進捗について 市長公約事業の進捗について報告を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

会議内容（発信者、発信内容、経過、結論等）	
事務局	令和4年度第2回和泉創発プラン進行管理会議を開催する。和泉創発プラン進行管理要綱第2条第2項の規定により、進行は森吉副市長に願う。
森吉副市長	次第に従って、議事を進める。 次第1. 議事（1）「和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）について」事務局から説明願う。
政策企画室	資料番号1 「和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）」に

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

財政課 人事課	<p>ついて、3ページ「令和3年度の主な取組実績と今後の収支見通し」、4ページから7ページ「まちづくりの取組実績」、8ページ「公共施設マネジメントの主な取組実績」については政策企画室が、9ページ「頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組実績」については人事課が、9ページ「財政健全化の取組実績」及び10ページ「収支見通し」については財政課が説明する。</p> <p>なお、11ページ以降については、資料編となるため参照願う。</p>
森下上下水道部長	<p>9ページ「1 頑張る職員が報われる制度の推進」について、「建築主事又は水道技術管理者の職にあり、かつ、勤務成績が良好な場合、勤勉手当を加算する」と記載があるが、勤務成績が良好であるかどうかはどのように判断するのか。</p>
人事課	<p>人事評価において、絶対評価B以上の職員が該当する。なお、評価がC、Dの職員に対しては加算しない。</p>
堂ノ上福祉部長	<p>9ページ「①頑張る職員が報われる制度の推進」について、「人事評価に多面評価を導入」と記載があるが、多面的に評価をされることと頑張る職員が報われる制度との関連性について教えてほしい。</p>
人事課	<p>現在、人事制度改革を進めている段階であるが、現在の人事評価制度では、職員の頑張りがきちんと評価されているかどうか不確かな部分も否めないため、多面的評価という新しい視点を制度に取り入れることで、新たな人事制度の構築に繋げていきたいと考えている。</p>
山本危機管理部長	<p>同じく9ページ「①頑張る職員が報われる制度の推進」について、「特に職責の重い職に対する手当」と記載があるが、どういった基準で対象の職が選定されたのか。</p>
人事課	<p>通常業務に加え、特別に業務が発生する職や資格取得が困難な職を特に責任が重い職とし、手当を加算することとしている。</p>
森吉副市長	<p>建築主事や水道技術管理者は法的に配置が義務付けられているが、それ以外にも配置が義務付けられている職はあるのか。</p>
人事課	<p>安全衛生管理者や交通安全運行管理者等についても法的な配置が義務付けられているが、これらの職については、通常業務に加えて特別に発生する業務が慢性的にある訳ではないため、加算対象外としている。</p>
小泉参与	<p>改訂（素案）は3 常任委員会協議会で報告、和泉創発プラン進行管理表（令和</p>

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

政策企画室	<p>3年度決算見込みベース)は総務企画委員会協議会で報告するとのことだが、総務企画委員会協議会での報告する順序はどのように考えているのか。</p> <p>先に、和泉創発プラン進行管理表(令和3年度決算見込みベース)を報告し、その後に和泉創発プラン改訂(素案)を報告する予定である。</p>
小泉参与	<p>2つの報告案件となるが、収支見通しの説明はどのようになるのか。</p>
財政課	<p>資料番号110ページに掲載している収支見通しは、改訂(素案)で新たに追加するまちづくりの取組等も含めた参考資料である。議会に対する報告は、改訂(素案)の報告の際に説明する。</p>
森吉副市長	<p>和泉創発プラン進行管理表(令和3年度決算見込みベース)については、この内容で第3回定例会総務企画委員会協議会に報告する。</p> <p>続いて、次第1.議事(2)「和泉創発プランの改訂について」事務局から説明願う。</p>
財政課	<p>まず、財政課から資料番号2「令和3年度決算見込みベースにおける収支見通しの概要」について説明する。</p> <p>資料番号2は令和3年度決算見込みを反映し、今後の収支見通しを置き換えるとともに、追加するまちづくりや財政健全化の取組を含めた収支見通しを作成したものである。その結果、令和13年度末の3基金残高が33億5,300万円となり、プランの目標である決算時点から10年後までの各年度末基金残高30億円を確保できる見込みとなっている。</p> <p>次に、令和2年度決算見込みベースからの主な変更点について、基金残高の減少要因としては、①市長公約事業の追加により一般財源ベースで約37億円の減少、②小学校体育館空調等の整備で約5億円の減少となっている。</p> <p>また、基金残高の増加要因としては、③富秋中学校区等まちづくり構想・北西部地域公共施設再編成事業のスケジュール変更に伴う公債費約5億円の回復、④追加財政健全化策の実施により約10億円の回復、⑤令和3年度末の3基金残高の増加により約7億円の回復、⑥新型コロナウイルス感染症の市税収入への影響額の縮小等による市税収入等の上方修正により約20億円の回復となっている。</p>
政策企画室 財政課 人事課	<p>続いて、資料番号3和泉創発プランの改訂について、1ページから6ページの改訂の目的、スケジュール、「まちづくりの取組」及び「公共施設マネジメントの主な取組」に係る主な改訂内容等については政策企画室が、7ページ「頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組」に係る主な改訂内容については人事課</p>

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

<p>辻生涯学習部長</p>	<p>が、8ページから11ページ「財政健全化の取組に係る主な改訂内容については財政課が説明する。</p> <p>なお、資料番号4和泉創発プラン改訂（素案）は、水色網掛け部分が現プランからの変更点となっているため、参照願う。</p> <p>資料番号310ページ「33. 人権文化センター事業（にじのとしょかん等）の見直し」のプラン改訂後の記載内容について、先日の教育委員会第8回定例会にて「（仮称）多世代交流拠点施設の供用開始によるにじのとしょかんの廃止を端的に表現した記載内容となっており、その後の本の取扱いに関する記載が無いので、誤解のないよう記載すべき」との意見があったので表現について検討していただけないか。</p>
<p>財政課</p>	<p>記載については、財政健全化の取組として端的に表現したものであるが修正の必要性含め、関係課と調整する。</p>
<p>森吉副市長</p>	<p>総務部も含めて調整するように。</p>
<p>堂ノ上福祉部長</p>	<p>新旧対照表は作成しないのか。</p>
<p>政策企画室</p>	<p>議会への報告時には提供する予定。</p>
<p>堂ノ上福祉部長</p>	<p>資料番号415ページ「②今後の歳入及び歳出」の1段落目に「市税収入が、女性の社会進出や高齢者の就業により、当面は増加が見込まれる」と記載があるが、女性の社会進出や高齢者の就業については、今に始まったことではなく、プラン当初から記載があれば別だが、改訂版に新たに記載するというのは表現に疑義を感じる。</p>
<p>財政課</p>	<p>現プランにおいては、市税収入は右肩下がりの見込みとなっているが、今回の改訂においては、市税見込みを見直し、当面は緩やかに増加した後に、減少に転ずる見込みに置き換えている。その根拠としては、府の労働力状況調査の結果から、女性と65歳以上の高齢者の就労者数が増加していること、本市市税収入の令和4年度調定ベースにおいて納税義務者数が増加していること、これらに加えて定年延長が令和7年度を期限としていることである。</p> <p>については、これまでも女性や高齢者の就業者数は伸びてきたということを表示した記載であるが、指摘を踏まえて、表現の変更を関係課と調整する。</p>
<p>立花環境産業部長</p>	<p>円安等の影響による原材料費等の高騰が続いているが、今後見込まれる富秋中学校区等まちづくり構想や北信太駅前整備事業等の建設事業等への影響は収支</p>

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

	見通しに反映しているのか。
財政課	個々の事業に物価高騰の影響を見込むことは困難であるが、普通建設事業費の全体に対して、10%程度上乗せした額を見込んでいる。
吉田副市長	本プランが計画どおりに進捗しているか、課題は何であるか等の記載がないため、市政全般を含めた進捗における総括も含め、今後しっかりと整理する必要があると考える。
政策企画室	事業の進捗管理はプラン本体ではなく、和泉創発プラン進行管理表にて管理しており、 資料番号1 11ページ以降の資料編に各事業のこれまでの実績や今後の予定を掲載しているが、指摘については今後検討する。
森吉副市長	市税見込みに関する文言の指摘については記載を変更するように。また、人権文化センターに係る記載は修正するかどうかも含め、関係課と早急に調整し、調整後の表現方法については私に一任いただきたい。その上で、第3回定例会3常任委員会協議会に報告する。
森吉副市長	最後に、次第 その他(1)「市長公約事業の進捗について」事務局から説明願う。
政策企画室	<p>続いて、資料番号5公約統括表を用いて、市長公約事業の進捗について報告する。なお、今後においては、和泉創発プラン進行管理会議にて、プランの進行管理と同じく予算時及び決算時に進捗状況を報告することとする。</p> <p>23事業ある市長公約事業は、全ての公約事業の計画内容が概ね意思決定され、事業費についても全てを和泉創発プラン改訂(素案)の財政収支見通しに反映している。</p> <p>令和3年度の主な取組としては、項番4「青色防犯パトロール車の活動支援」においては、令和3年度に事業完了済み、項番5「町会館等に災害情報の戸別受信機を設置」及び項番10「産婦健康診査の拡充」については、令和3年度から事業を開始し、継続して取り組んでいる。</p> <p>また、項番1「市内移住者への支援」、項番2「窓口手数料などのキャッシュレス化」、項番18「公共施設を活用した自習室の拡充」、項番20「市内に10のランニングコースを設置」については、令和3年度に制度設計や導入準備を完了し、令和4年度から事業着手している。</p> <p>その他の事業においても、令和5年度以降の予算化に向けて進めており、全公約事業の達成へ向けて、順調な進捗となっている。</p> <p>以上、市長公約事業の進捗状況報告とさせていただきます。</p>

令和4年度 第2回和泉創発プラン進行管理会議 会議録

森吉副市長	<p>5年間の計画である和泉創発プランは、3年目を迎え、折り返し地点となる。事業所管課においては、これまで大きな遅れもなく着実に取り組んでいただいているが、残る2年半の期間においても、しっかりと進行管理を行い、進めていくようお願いする。</p> <p>また、今回の和泉創発プランの改訂は、市長公約を含め、政策的に重要な事業を追加し、和泉市が「魅力あるまち」、「選ばれるまち」となるよう取り組んでいくこととしているため、引き続き、各部長のリーダーシップの下、着実な推進をお願いする。</p> <p>なお、会議の中でも説明があったとおり、和泉創発プラン進行管理表（令和3年度決算見込みベース）については、第3回定例会総務企画委員会協議会において、和泉創発プラン改訂（素案）については、3つの常任委員会協議会においてそれぞれ報告する予定となっている。</p> <p>については、今後も事務局から各事業についての資料作成に加え、委員会協議会への所管課長の出席依頼等があるかと思うが、協力して取り組んでいくようお願いする。</p> <p>以上をもって、令和4年度第2回和泉創発プラン進行管理会議を終了する。</p>
-------	--